[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-001

国立国会図書館

ヤキ訶

いくれハ雲後國よりまいりてたる俗
まてひ梅も松浦筑紫乃捨ひも
はくれハ孫とけ中をともなれ哉
必たり愛男山に集りすぐ思ひ
ぬほと都小上まてひぐはも又
立出佛閣に集りやと思ひは
世 一ヽ二ヽ三ヽ三ヽ
都人る都小近き所ハ先所も

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-002
国立国会図書館

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-003
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-004
国立国会図書館

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-005
国立国会図書館

所なれを宝世をへてそこ光君
（上カル）まこと夕朝ハ霧のよにが亀なる
思を見給ひしぞもおろ詠し我
（ハル一下）ホよおうこちぞ我もさなりう
こゝ世を海河原院と御覧をよ
（ロキ上カル）字祈しや枕ハ昔よりまだなるおふ
所を見る事よ（訂）ぞおもまは乃

夕はのもおぞ乃たゝ御ら落
遊りわともぞしてそ又夕朝乃
霧消給ひし世語を（上カル）伝たまへや
御語を及なる身も悲ぬらり世
（序シテ）そもくひうるくしお物語
ぞと薬申うえむをも悲しそ
程あさきは何たわ悲いへとも

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-006
国立国会図書館

心葉捉心をはしめて蔵さと小
ぬりし詠のハうわよもかゝる
津ゝ画世 中小も此夕かほ乃
巻ハ鉢にはしく社てあり社なほ
情の花も渉りしは葉を絡ひし
六条殿は白所にかよひたまふ
よ可り小よ里し中宿に たゝ

やすらひ乃玉鉾の仮にだてし
清くほまなわ 物乃あやめも
見ぬあこわ殿ごいへうちなほ
野の清下小咲かゝ里たる花乃
ぬもえなしは見えし夕かほ
が里はこそし咲ある人社心乃
そハ志る霧乃ぶきけを我々は

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-007
国立国会図書館

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

第八二ふしやとばゆ小
咲たわてやとそおまほ女も
う衣々すやうに矢よくわく
い寸ゝ雁をよもすくゝ月
えそらりあり一ほゝ法花
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
後頭部辞たゝ女ほそ
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
傳かはく

五陸乃風女
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
もれゝけ乃ひとゝまあひ一
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
も稜をおけそお夢人乃ほよく
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
吊ひ好ゝとゝ一ゝきやねい
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
よひ落下ほゝ山乃裾野月影の
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
ぼほそゝそめゝ夕影乃赤葉ほ
ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二ニ二
雲乃消やすゝ

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-009
国立国会図書館

世語をかけて罷りし所へ出か
見たまへ愛もを所作りし気味
燃落のら些成て　池ハ水草に
埋まてぶわたる柱乃陰くら見
又明鶴香乃しらあらず者よし見
渡る折しを　さも物はこそ
思ひ給ひし　心の水ハ渇江よ

びゝ枕て加ふ体者些なれとも
学そそ見ゝ行ふ見成ふへふそ
来世も深成ぢまわ雅寸明く
法僧のゝ乃吊成受て　法僧乃
ゝ所吊をうけて数ゝ嬉しや些
夕都乃恵見所まを　ひらくは
法華の　世姻さも夏迷男子乃

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-010
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[譜本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-011

国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-012

国立国会図書館

[謡本] 夕かほ 1冊 WA7- 096-013

国立国会図書館